

各位

2000/9/26

取材ご依頼

米国リハビリテーション雑誌記事掲載のご紹介

21世紀リハビリテーション研究会による研究成果の発表について

1987年以来当会は新たなリハビリ手法のシステム化と医学的視点からの評価確立を目指して研究を続けています。

本年3月これまでの機器開発とその利用によるリハビリ効果について、ロスアンジェルスで行われたCSUN学会において論文採用となり、私滝沢茂男が発表いたしました。<http://www.csun.edu/cod/conf2000/proceedings/0166Takizawa.html>

このプレゼンテーションに出席された Rehab Management International (メディカルワールド出版社) (資料添付2) の編集長クリスティン プラット氏より執筆依頼があり、記事(資料添付3)になります。なお担当のアン カールソン氏によればこれまで日本に関する記事はないとのことでした。

本年10月6日発行と伺っております。

記事の主旨は寝たきり老人病院において193人のリハビリテーション患者のうち59人が寝たきりから歩行を再獲得した事実(資料添付4・学会論文2件)から、その方法(資料添付5・創動運動のための器具開発)と今後の課題を記述した内容になっています。

今回幹事社の方のご厚意により、資料を配付していただけることになりました。この事実がもしご取材にふさわしいものでありましたら、是非お願いしたいと考えまして、資料をお送りいたしました。なお(資料添付1介護・依存から自立へ)は私たちの研究に関する報告です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

21世紀リハビリテーション研究会  
C/Oリハビリエイド有限会社  
2510804 藤沢市善行7-5-4  
事務局長 滝沢茂男  
電話 0466-81-5392  
FAX 0466-81-8815  
e-mail [takizawa@civilnet.org](mailto:takizawa@civilnet.org)  
[www.civilnet.org/21reha](http://www.civilnet.org/21reha)